

名称**令和の市営住宅**

モデルとなったのは市営住宅ではないのですが兵庫県養父市にある住宅です。

ただ家のサイズや同じタイプの家が密集してあったことから、「なんか市営住宅っぽい」と思いました。

今どきの家らしく？家を囲む塀や雨戸・軒は無く屋根は片流れ、敷地に緑も無い小型の住宅でした。

ただこの住宅地は緑豊かな田園地帯に建てていたの敷地内の緑は特に必要とされていない環境にあります。

**特集****養父市の住宅今昔****兵庫県養父市**

養父市は江戸時代の養蚕の先覚者で「養蚕秘録」の著者 上垣守国の出身地というだけあり、昭和40年代頃まで養蚕が盛んにおこなわれていました。

このため今に残る古民家は養蚕を行っていた痕跡が色濃く残っています。下の写真は養父市大屋町大杉地区に残る民家です。

<https://www.denken-oosugi.com>

詳しくはHPをご覧ください。

一方こちらは今どきの民家。養父市の伝統的な伝統的な建て方は消え町中で普通に見かける民家とあまり区別はつきません。ここでは作品の参考とした民家を紹介。



この他にも



養父市建屋地区の養蚕小屋と思しき建物



二階部分の屋根が高く小屋根が付いている家が目立ちます。

